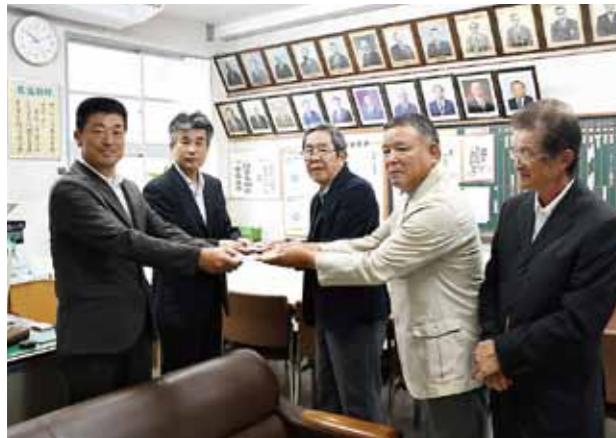




## 別府小中学校に子ども育成助成費を贈呈



別府校区自治公民館連絡協議会(白澤孝男会長)から、別府小学校と別府中学校に子ども育成助成費が贈呈され、6月20日に贈呈式が別府小学校で行われました。これは、同協議会の青少年育成事業の一環として行われたもので、贈呈式には会長をはじめとする代表3人が別府小学校を訪れ、両校の校長に目録が手渡されました。

白澤会長は「別府小学校、別府中学校には、みんながお世話をになりました。何とか恩返しをしたいとの思いで、今回、贈呈を行いました」と話しました。

目録を受け取った別府小学校の小園俊介校長は「子どもたちのために、有効に活用させていただきます。ありがとうございました」と話しました。

## プールオープン情報

### 市営プール

期間 7月20日(金)～9月2日(日)  
時間 午前10時30分～正午／午後1時15分～3時30分／午後4時～6時15分

◎問い合わせ 保健体育課保健体育係 TEL(72)0170  
総合体育館 TEL(72)1116

### 火之神公園プール

期間 7月20日(金)～9月2日(日)  
時間 午前10時～正午／午後1時～7時  
◎問い合わせ 水産商工課観光交流係 TEL(72)1111  
内線462

### 台場公園海水プール

期間 7月20日(金)～9月2日(日)  
時間 午前10時～正午／午後1時～6時  
◎問い合わせ 建設課都市計画係 TEL(72)1111  
内線236



## 小学生力士の好取組に大声援～第28回黒潮すもう大会



黒潮すもう大会が6月9日、駒場公園相撲場で行われ、市内各小学校から3年生以上の代表児童144名が参加しました。子どもたちは、相撲教室で学んだ礼儀作法で堂々と土俵に登場し、熱戦を展開。好取組の連続に、観客席からは大声援が巻き起こりました。

団体戦は昨年に引き続き枕崎小学校が優勝。優勝した枕崎小学校には、本市出身で大相撲立行司第36代木村庄之助の山崎敏廣さんが寄贈した軍配のレプリカと直筆の盾が贈られました。

各部門での優勝は次のとおりです(敬称略)。

【団体】枕崎小学校 【個人】3年男子=濱村拍虎(枕崎小)、3年女子=前田帆海(桜山小)、4年男子=庭月野散太(立神小)、4年女子=中川路元緑(桜山小)、5年男子=深野木敦大(枕崎小)、5年女子=鶴田優華(立神小)、6年男子=開海那太(枕崎小)、6年女子=鶴田かりん(枕崎小)



## 子どもたちがなぎなたを体験～市スポーツ少年団交流大会



6月16日、市立総合体育館で市スポーツ少年団交流大会が行われ、8団体から約100名が参加しました。

今回は、2年後の「燃ゆる感動かごしま国体」で本市で開催される「なぎなた競技」を子どもたちにも知つてもらおうと、鹿児島県なぎなた連盟によるなぎなた教室が行われました。試合・演技競技の紹介と大河ドラマ「西郷どん」のテーマ曲に合わせたりズムなぎなたが披露された後、子どもたちはグループに分かれ、実際になぎなたを手に取り、基本動作や打ち込みなどを体験しました。

なぎなた教室終了後は、ニュースポーツ運動会で他の少年団との交流を深めました。



## 駒水政則さんに日本赤十字社鹿児島県支部長表彰



5月12日、県赤十字血液センターでけんけつ応援隊の駒水政則さんが長年の活動が評価され、日本赤十字社鹿児島県支部長(県知事)から表彰を受けました。

けんけつ応援隊は、地域の献血推進力を高める目的で7年前に発足され、現在県内に64名の隊員がいます。駒水さんは発足時から延べ93回、県内各地域の献血会場で推進活動を実施してきました。表彰は今年から始まり、今年度は県内で男女各1人ずつが表彰を受けています。

駒水さんは「市民がいざという時、安心して輸血を受けることができるようとの思いで、献血推進に取り組んできたことが評価され嬉しく思います。今後も市や地域の協力団体と一緒にになって、献血の実績向上に貢献したいです」と話しました。



## 土砂災害を想定し防災訓練を実施



6月3日、土砂災害・全国防災訓練が行われました。今回の訓練は、市及び市消防本部、枕崎警察署、南方園、妙見の里、ピースフル立神の関係者総計312名が参加しました。

訓練は、昨年7月に発生し甚大な被害をもたらした九州北部豪雨を教訓とし、大雨による土砂災害を想定して、行政機関等及び要配慮者利用施設等との避難訓練及び情報伝達訓練を目的として行われました。

各施設では、避難勧告が発令された際の利用者の支援などについて確認が行われました。



## 消防操法の確実性・迅速性を競う



隔年で実施される市消防操法大会が5月27日、妙見グラウンドで行われました。各分団からポンプ車操法の部に7チーム、小型ポンプ操法の部に5チームが出場し、日頃の訓練の成果を披露しました。操法競技は、火災の消火活動を想定して行われ、ポンプからホースを延長して火点(標的)に放水し、それを倒すまでの確実性と迅速性を競い合います。

今大会では、ポンプ車操法の部及び小型ポンプ操法の部の両方で別府南分団が優勝しました。優勝した別府南分団は、7月15日に南さつま市で開催される川辺支部大会に本市代表として出場します。

大会結果は次のとおりです。

【ポンプ車操法の部】①別府南分団 ②木原分団 ③立神分団

【小型ポンプ操法の部】①別府南分団 ②桜山分団 ③立神分団



## 森田チームが九州大会に出場



5月25日に開催された県消防救助技術指導会で、本市消防本部の森田チームがロープブリッジ救出の部で3位になりました。同チームは県代表として大分県で開催される九州大会に臨みます。

チーム代表の森田貴仁さんは「自分たちの力を出し切れば全国大会に出場できると思うので、一生懸命頑張りたいです」と九州大会に向けての抱負を話しました。